



私鉄総連

庶務財政局書記

三谷 夏子

え、作っていくことが組合活動にとつとでも大切なことだということでした。

その中でも、実際に交渉の場に入ったことがなかったり、組合員さんの意見を直接伺うことが少ない私にとつ

囲気を感じることもできたことも含め、勉強になりました。

交渉の場のロールプレイングでは、私は何も意見を言えませんでした。他の方々が理論的に、かつ、相手の考えを汲み取りつつ交

思いました。どちらに おいても人と人とのつながりであり、組合活動だけでなく今後の私の人生においても、人間関係を築いたり歩み寄る上でも大切なことであると感じ、大変有意義でした。

講義以外においても、これまで担当業務柄、他の産別の方々と交流することがあまりなかった私にとって、

した。その反面、自分の産別についてももっと勉強していかなくてはいけないかと反省した部分もあります。

最後に、他の産別からは中央執行委員の方々が受講されている中、書記である私にも

全労生ユニオンカレッジを受講して

勉強の機会をいただいたこと

て、第5講の「実践効果的な労使交渉の進め方」や第8講の「職場との対話力の向上」今こそ求められる組合員への個別的問題解決

力」では、交渉の場を再現したり、ヒアリングを実践するなど、大変興味深く、交渉の雰囲気を感じることができたことも含め、勉強になりました。

ヒアリングにおいても、いかに相手の思いを引き出すか、表情や声にも気を遣うことなどとても繊細なのだと思

う。また、講義が業務中である場合にも、気持ちよく送り出してくれた職場にも感謝しております。

まえた上で未来を考

え、作っていくことが組合活動にとつとでも大切なことだということでした。

他の産別の方とつながりを持たせていただいたこと、また、産別の状況や悩みを伺えたこととは大変勉強になりました。

最後に、他の産別からは中央執行委員の方々が受講されている中、書記である私にも勉強の機会をいただいたこと